

平成 25 年度 平山郁夫連続セミナー アートオアシスin広島

「平山郁夫絵画の美と人生を語る」をテーマに
連続セミナーを開催いたします。
各回参加は自由です。セミナー終了後、広島県立美術館
所蔵作品展をご覧ください。お気軽にご来場ください。

【参加費】500 円（予約不要）

【定 員】200 名

【会 場】広島県立美術館 地階講堂

（広島市中区上幟町 2-22）※今年度から会場が変更になりました。

会場アクセス / ●市内路面電車・バス ^{しゅっけいえんまえ}「縮景園前」下車約 20m
●広島駅より約 1km、広島城より約 400m



第1回

「広島県立美術館所蔵 平山郁夫作品から」

8月3日(土) 10:30~12:00

講 師／永井明生（広島県立美術館主任学芸員）

「広島生変図」
広島県立美術館蔵



広島県立美術館が所蔵する平山郁夫の代表作「広島生変図」
「受胎霊夢」をはじめ、「家路」「内海の春」などの初期作品、
「黄河（晨）」「波斯黄堂旧址」などの中国、シルクロードを
モチーフにした作品を通して、平山絵画の魅力を語ります。

第3回

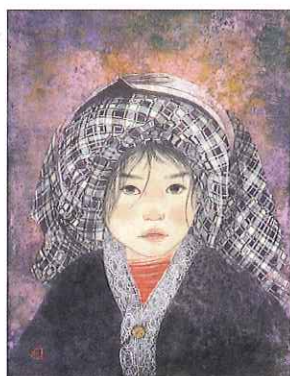
「中国人から見た 日本画の魅力」

10月5日(土)10:30~12:00

講 師／王 培

（広島市立大学芸術学部
助教・日本美術院院友）

平山郁夫の絵画との出会いから日
本画の道を歩むことになった中国人
画家の目を通して日本画の魅力
や、中国画と日本画の違い、さらに
平山郁夫の人物評などについて、自
作の院展作品の紹介とともに迫りま
す。



王培画「追憶」

第2回

「初めて見たシルクロード ～トルコ・カッパドキア～」

9月7日(土) 10:30~12:00

講 師／松崎 哲（平山郁夫美術館研究員）

「アナトリア高原」



平山郁夫が初めてシルクロードを訪れたのは、昭和 41 年
（1966）のトルコのカッパドキアでした。そこで洞窟修道院壁
画の模写作業に 4 か月間携わり、それが画業飛躍への転機とも
なりました。その異文化との出会いの秘話などを紹介します。

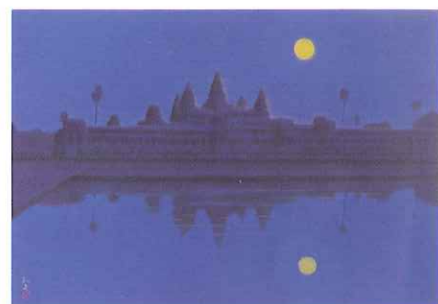
第4回

「文化財赤十字の 構想と実践」

11月2日(土) 10:30~12:00

講 師／平山助成（平山郁夫美術館館長）

平山郁夫は、文化財赤十字
構想を提唱し、国内外の文
化財の保護や修復活動に精
力的に取り組みましたが、
その実践を敦煌莫高窟の保
護、アンコール遺跡の修復、
アフガニスタンからの流出
文化財の回収などの事例か
ら紹介します。



「アンコールワットの月」
平山郁夫美術館蔵

【主催・問い合わせ先】平山郁夫セミナー実行委員会

広島県立美術館（Tel.082-221-6246） / （公財）平山郁夫美術館（Tel.0845-27-3800） / （公財）ひろしま文化振興財団（Tel.082-249-8385）